

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2019年2月28日(木)

野ばら 3月号

日ごとの糧を、日ごとに、お与えください

校長 夏見隆晴

今回は、毎朝、生徒達と共に唱えている「主の祈り」の中の句の一つを取り上げてみましょう。「主の祈り」は、イエス・キリスト様が弟子たちから、祈り方がよく解らないから教えてくださいと請われて、教えたお祈りです。そこで、イエスは仰せになった。「祈る時には、こう言いなさい、『父よ、み名が聖とされますように、み国が来ますように。わたしたちの日ごとの糧を、日ごとに、お与えください。わたしたちの罪をお赦しください。わたしたちに負い目のある人をみな、わたしたちも赦します。わたしたちを誘惑に遭わせないでください』と、ルカによる福音書第11章にあります。これを何年も毎日続けているのですから、誰もが自然と口出来るわけです。そして大切な事は、神様の御子イエス・キリスト様の方でも、この祈りを受け取ってくれているということです。

「祈り」について、考えさせられることがあります。それは、イエス・キリスト様には、祈りなくして何一つできないという弱さがあったと、言われているのです。聖書を読むと、イエス・キリストが如何に「祈りの人」であったかという事がわかります。しばしば弟子たちを残して、独り静かなところで祈りの時を過ごしたと記されております。イエス・キリストは、本当に祈りの人でした。祈りを愛しておられました。愛しておられたというより、必要としておられたという方が適切かもしれません。父なる神への祈りの必要性を、身をもってわたしたち人間に示してくださっておられたように思われます。

祈りには、「とりなしの祈り」というものがあります。「とりなす」とは「対立する者の間に立って仲直りさせる」ということです。事実イエスは、一番弟子のシモン・ペテロのために、しばしば祈りを父である神に捧げておられます。「シモン、シモン、サタンは、あなた方を小麦のようにふるいにかけることを願った。しかし、あなたの信仰がなくならないよう、私はあなたのために祈った」と、ルカも記しています。同様に神の御子イエス・キリストは、私たちのために、「とりなしの祈り」を常になさってくれているのです。

誰の人生にも、今は「祈るしかない」という時が必ずまいります。その時のために、今更「祈りの勧め」を皆様にするつもりはないのですが、「祈り」は、弱い人間が自分のためだけにすることではないのです。勿論、神様によって命を与えられた自分のために祈ることも大切です。しかし、目をもっと大きく開いて見てみると、わたしたちの祈りによって助けられる人たちが、すぐ隣に、又遠い地球のどこかで暮らしているのです。その人たちのためにも、「とりなしの祈り」をも添えて、心を向け手をつないで行きたいものです。わたしたち教師も親も、子供達が広く他者にも目を向けて欲しいと願っております。そのような教育の中心に、「他者のために祈ること」を据え続けて行きたいものです。

人生の軸

社会科 後野 夢咲志

「好き、嫌い」と「できる、できない」、どちらの軸で考えるかが人生の大きな分かれ目だと思う。この場合の「できる」とは、多くの他者が認めてくれる「できる」のことで、僕はこちらの軸の方が大事だと思う」

この言葉は有名な予備校講師の林修先生の言葉です。さらに、彼は「やりたい事、好きな事というのは“偶然”だと思っている。人間の願望というものは、環境や情報など外部の要因で出会うものだが、“できる”というのは偶然ではなく“必然”。（自分は）決して好きなことではないが、周りが“できる”と認めてくれる予備校講師の仕事が続けてきたが、結果うまくいかなかったことや悩んだことは何ひとつない」と自身の経験を語りました。

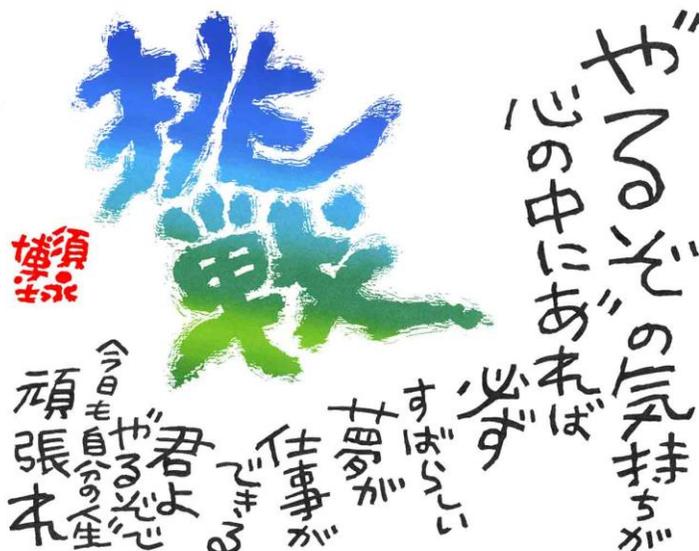
林修先生の言うように、周りの人が認めてくれる“できる”であれば、“嫌い”であっても挑戦していくことが大切だと思います。

私自身、人見知りで発表することが“嫌い”でした。どのくらい嫌いだったかというと、小学生の時には発表で人前になると緊張して泣き、中学生の時には先生に私を指名するなオーラを出し、高校生の時には授業中、先生とほとんど目を合わせませんでした。そんな人見知りの自分を変えようと思ったのが大学時のボランティアのことです。学童のクリスマス会の司会を頼まれ、“嫌い”でしたが“できる”と思ったため挑戦しました。うまくできたとは思いませんが、先生や保護者の方々から「ありがとう」といわれ学童の子供たちも喜んでくれました。

“嫌い”なことであっても“できる”ことに挑戦し自らを変え、その結果、喜んでくれる人たちがいる。それだけで“できる”ことへの挑戦に意味があると思います。

先生方から「やってほしい」と言われたり、大人になっても難しい課題を突き付けられたりすることもあると思います。その時に“好き、嫌い”で決めるのではなく“できる、できない”で軸を決めていけば自分の人生も自分と関わってくれる周りの人の人生も豊かにしていくことが出来るのではないかと思います。

ぜひ、今から“できる”ことへの挑戦をしてみてください！





3月の行事

3月1日(金)	答案返却日
2日(土)	家庭学習日
6日(水)	職員会議 完全下校 16時20分
13日(水)	委員会活動⑥
15日(金)	職員会議 完全下校 17時
16日(土)	総合 PUP⑨ 学校見学会⑦
20日(水)	修了式 大清掃
21日(水)	春分の日 高1・高2 有志参加 春期勉強合宿(25日まで) ✿春休み✿(3月21日～4月4日まで)
22日(金)	高校後期入試



少しだけ 4月の行事

4月5日(金)	始業式 <u>8時05分</u> 開始(講堂集合) 入学式予行
6日(土)	✿ 沖縄カトリック中学高等学校入学式 ✿ 高校 教科書販売
8日(月)	午前：総合 PUP①(学級指導・二計測・個人写真撮影) 午後：通常授業
9日(火)	高3 スタディーサポート

4月10日以降の行事は2019年野ばら「4月号」にてお知らせします。



生徒の頑張り



★第57回全沖縄児童生徒書き初め展

＜高校の部＞

銀賞 外間玲美(4-B)

銅賞 大田一輝(4-A) 伊敷琉羽(4-A) 久保進太郎(4-B)

＜中学の部＞

金賞 比嘉このみ(3-B)

銅賞 山川りえ(1-B) 寄川孝ノ慎(2-A) 安慶名愛夏(2-A) 河野瑠導(2-B)

平良悠(2-B) パーカー ライアン 海(2-B) 鄭 安妮(2-B)

仲西のの(2-B) 高里由貴子(3-B)

★沖縄カトリック中学高等学校 国際交流

2018年度 オーストラリア姉妹校訪問語学研修プログラム

3-A パーカー 絵理華 アシュリ

4-A 久志香己乃

4-B 崎浜凜々子 長嶺義祐

5-A 上原慎太郎

5-B 岡橋海晴 比嘉和馬 秋葉亜利寿

上記8名が本日2月28日(木)20時55分に那覇空港からオーストラリアへ出発します。3週間のプログラムです。姉妹校であるオーストラリアのキャロラインチズム校にて現地の生徒と学校生活が始まります。実りある時間となりますように。

3月21日(木)19時45分に帰沖します。

オーストラリアでの様子(写真)をホームページにて掲載していきますので、ご覧ください。



キャロラインチズム校のロゴ



本校のエンブレム